

令和5年度阿倍野区区政会議 まちづくり部会における
令和6年度施策・方針に向けた主な意見等

令和6年度に向けていただきたい意見

- 各地域での町会加入の取組（有効な周知方法等）や考えられる町会加入のメリットについて
- 各地域の SNS を活用した情報発信の取組状況について
- 「役員の仕事」を見える化し、必要性を理解していただくツールを作成する。役員の負担感を軽減するには、具体的にどのようなことを掲載すると良いと考えられるかについて
- あべのカーニバルやスポーツフェスタの内容に、変化をつけるための開催方法について

第1回部会（令和5年7月11日開催）における委員からのご意見等

○町会加入の促進方法について

- わたしの住んでいるマンションは、昔は4階建てだったが、12階建ての高層になる際に、町会加入についてどのようにするか議論をし、ひとまず全員加入をしていただくということを決め、今日に至っている。加入することで何があるということを説明し、また集合体としての取組であることから、建物が維持できないという説明もさせていただいて加入の維持、役員も交代でやっていただいている。

阿倍野は今、空き地があるとマンションになる。そうすると全然町会に入られない。そんな流れができていく。とりあえずは阿倍野式として、大阪の23区は別として、阿倍野だけでも、阿倍野式で強制的に自動的に町会に入ることを義務付けて欲しい。

一方で地域活動協議会と町会の話もあって、どう違うのか、と問われても回答できない町会長も多にいる。区としてどちらが大事なのか、行政としてどう考えているかお聞きしたい。

○町会加入にかかるターゲットの見直しについて

- 市の職員も阿倍野区に住んでいる方が結構いる。その方々お一人でもいいからせめて町会に加入することを念頭に置いていただくことが賢明かなと思う。行政の方がマンションの中で私は入ります、くらい積極的に入っていただければ、加入促進のきっかけになるのではないかなと思う。
 - 防災ジュニアリーダーの募集についても学校で募集するのではなく、地域の防災リーダーから直接声をかける、そのことによってその子のご両親が町会に加入していなかったら入ってもらうという流れを作ることができるのではないかと提案させていただいたことがある。
- また、文の里中学校との取組になるんですが、毎年、中学1・2年生の子供たちが地域清掃に入る。町会長が学校へ行き、プラカードを持って、第一避難場所へ誘導し、周辺を清掃するというもの。8年くらい文の里中学校では取り組んでいるが、参加した生徒のご両親への町会PRにもなり、町会に加入された実績もある。
- ジュニア防災リーダーの子達を通じてご両親等にコンタクトを取って、一人一人に声をかけていって町会を手伝ってほしい、まずは興味を持ってもらう、そういう活動が大事だと思う。

○町会加入のメリットについて

- 町会加入のメリットは、加入していなければ隣近所しか挨拶することがないけれど、加入していると色々な方と顔なじみになれると個人的には思う。また、顔見知りの関係になることで独居老人の方の非常事態の防止につながることもあるかもしれないと感じる。

町会に入ったらこんなメリットがありますよ、というのはあったとしても結局は役員をしてほしいと言われるだろうという恐怖心が絶対あると思う。でも、一度まずは参加してほしいということを伝えていく。

まず、関係性を作っていく、どこに聞けばいいのか、などわかりやすくしていくことが必要。マンションの場合は、まず管理人さんがいるか、いないか、いたら、まずどんな人か、まず仲良くなっていくのが大事ではないかなと、ポイントではないかなと昨今感じる。

- ・町会の加入は親の世代からずっと加入していて当たり前のように思っていたけれど、子どもを産んでから特に思ったのは子供会というのがとてもよかった。

子供会に入っているおかげでマンションに住んでいても異年齢の子達とのつながりができて仲良くなれた。子供会の活動のおかげで知り合いも増えてよかったと感じている。

でも、单身の方はなぜ町会に入るのか理解できない、入らなくても困っていない、という方も多い。何がいい、ということがわかっていない、マンションでも必ず入らないといけないという仕組みがあれば広まっていくのかなと思う。

○あべのカーニバル・あべのスポーツフェスタの開催方法について

- ・あべのカーニバルやスポーツフェスタについて、毎年同じ会場で開催されているが、開催地を変更してはどうか。また、スポーツフェスタの昼休憩の時に民踊等を実施しているが、もっと踊り等をしたいと思っている方もいると思うので、例えば、天王寺高校を第一会場、隣にある文の里中学校を第二会場として会場を分けてもいいのではないかな。
- ・あべのカーニバルの会場で出店する方だけでなく、ご自分の店舗でもあべのカーニバルを行っているような形で担い手として関わってくれたらいいなと思った。
- ・町会や地域の方だけでなく、お店の方がもっと出店してくれたら新しいカーニバルになると思う。そうすることにより、子供やファミリー、若い世代や单身の方等が交わるカーニバルになるのではないかと考える。
- ・スポーツフェスタもカーニバルと同様に複数の場所で開催する等、開催場所については、議論していくことは必要だと考える。

令和6年度に向けていただきたい意見

- ・大阪・関西万博の開催を機に市外・海外からの来訪者が増えることが想定されるため、来訪者が阿倍野区の魅力を感じてなんども訪れたいくなるような「おさんぽ map」のさらなる活用、情報発信の方法について

第1回部会（令和5年7月11日開催）における委員からのご意見等

○おさんぽマップの配架について

- ・「おさんぽ map」や「おさんぽ map 外国語版」をもっとPRすべき。「おさんぽ map 外国語版」は外国人向けの案内所など置くといいのではないかな。また、交通機関としてJR天王寺駅や鶴ヶ丘駅。鶴ヶ丘駅は長居スタジアムがあるので観客に周知できると思う。
- ・スタンプラリーは、大人も子供も、押したくなるので、いい取組と思う。どこに置いてるか分かればもっと手に取ってもらえると思う。近鉄百貨店などは、外国語版を置いてもらったらいいと思う。
- ・おさんぽマップのPRの場所としては、宿泊施設に置いたらいいのではないかな。
- ・阿倍野区内にマップがどこにあるか場所がなかなか分からない。これから万博に関して、おさんぽマップや外国語版をどういうところに置いていこうとしているか。

○おさんぽマップのPR方法について

- ・PRの方法について、30秒で分かるような短い動画がいいと思う。冊子は情報をすぐに更新できないが、動画やSNSで補足や訂正、追加ができ、冊子と動画の内容をリンクさせたり、マップの使い方動画があればよい。マップにQRコードをつけて使い方を載せる動画に誘導させるといいのでは。